

拠点名称：医療＆福祉DXを活用した全世代ケアラーのヘルスエクイティを目指す地域共創拠点

代表機関	自治医科大学	プロジェクトリーダー	門田 行史 自治医科大学医学部 准教授
幹事自治体	下野市	幹事機関	中央大学 株式会社アルム
参画機関	早稲田大学、国際医療福祉大学、京都府立医科大学、東京科学大学、青山学院大学、宇都宮大学、国立成育医療研究センター、産業技術総合研究所 株式会社 プレシジョン、株式会社 ディー・エヌ・イー、認定NPO 法人カタリバ、株式会社 LIFULL、トモイク株式会社、一般社団法人Apple Base、株式会社プリメディカ、公益財団法人日本財団、株式会社タイミー、株式会社ナーステックラボ、損害保険ジャパン株式会社、SOMPO Light Vortex 株式会社、SUNDRED 株式会社、那須塩原市、那須町、栃木県		

プロジェクトの概要

当拠点では、「すべての人が健康と福祉のあらゆる面で人間としての可能性を発揮できる公平で公正な機会を手に行っている状態」をヘルスエクイティが実現した社会と定義する。本拠点では、**大学、病院、企業、学校、自治体、政府、市民社会等、各コミュニティの枠を越えたマルチセクターに渡る持続的なコラボレーションを構築し、医療＆福祉DXを活用した介入コンテンツを開発、遠隔医療や全国の自治医大卒業生とのネットワークを活用し、これまで支援が不足していた全世代ケアラーのヘルスエクイティが実現した社会を目指す。**

【ターゲット1】：世代別ケアラー抽出方法確立、生活パターン把握、心身評価、多様なニーズの把握

【ターゲット2】：ケアラーの年齢や状態に応じた多様なニーズへのソリューションの提供

【ターゲット3】：医療＆福祉DXを活用したケアラーサポート必要度予測データ基盤（DB）の確立

当拠点の全体像

「医療＆福祉DXを活用した全世代ケアラーのヘルスエクイティを目指す地域共創拠点」

見える化

ターゲット① 世代別ケアラー抽出方法の確立、生活パターン把握、心身評価、多様なニーズの把握

ターゲット② ケアラーの年齢や状態に応じた多様なニーズへのソリューションの提供

研究開発課題1 全世代ケアラーサポート必要度予測指標の開発

研究開発課題2 ヤングケアラーのニーズに合わせた支援システムの開発・実装

研究開発課題3 家族子育てケアラーのニーズに合わせた支援システムの開発・実装

研究開発課題4 家族介護ケアラーのニーズに合わせた支援システムの開発・実装

研究開発課題5 医療＆福祉DXを活用したケアラーサポート必要度予測データ基盤（DB）の確立

企業参入

ヘルスエクイティ 地域共生社会

ケアラーの持続可能なライフスタイルの実現

医療・福祉DXや生成AIの社会実装

自治医大ネットワーク 遠隔医療による 医療の質向上・地域格差解消